

感染症 ひとくち情報

麻疹報告数が増加しています！



2019年4月5日

東京都健康安全研究センター

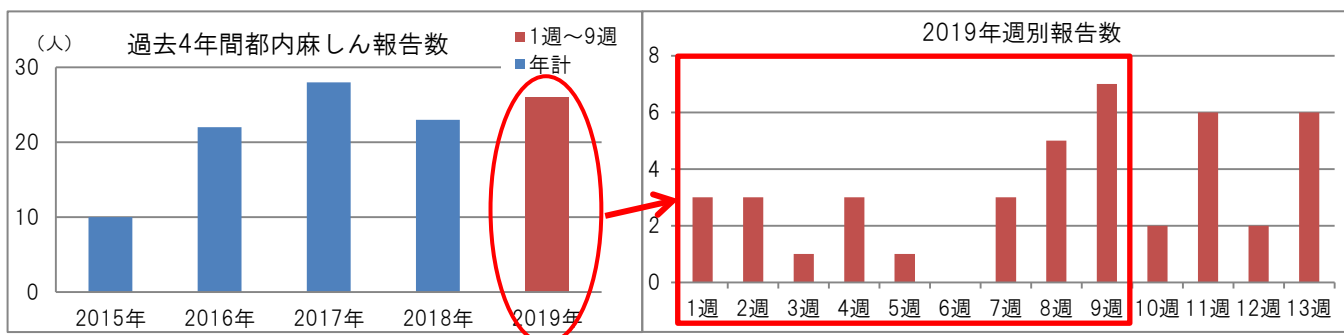
1. 麻疹とは

麻疹は、麻疹ウイルスの感染によって起こる感染症です。ウイルス感染後、約10日～12日（最大21日）の潜伏期の後、発熱・咳・鼻水など風邪のような症状を発症し、2～3日後には39度以上の高熱と発疹が出現します。麻疹は治療法がなく、対症療法が中心となります。脳炎や肺炎等の重篤な合併症を引き起こす場合もあり注意が必要です。



2. 発生状況

都内では1週から9週までの報告数が過去4年の年間報告数と同程度となり、13週現在、ほぼ毎週報告がされています。



3. 予防について

麻疹は感染力がきわめて強く空気感染し、1人の発病者から多くの人に感染します。有効な予防方法はワクチン接種をして免疫を予め獲得しておくことです。



4. ワクチン接種について

定期予防接種	定期外予防接種
原則的に麻疹・風疹混合ワクチン（MRワクチン）を1期2期の期間において2回接種。	任意接種として麻疹・風疹混合ワクチン（MRワクチン）、麻疹ワクチンの接種が可能。
定期予防接種対象者	定期外予防接種対象者
1期：1歳以上2歳未満 2期：5歳から7歳未満で小学校就学前1年間	定期予防接種の期間にない人で麻疹罹患歴、 ワクチン接種歴が1回も無い人

※ 定期接種対象年齢以外の方で接種を希望される方はかかりつけ医にご相談ください。

麻疹が疑われた場合

麻疹が疑われる症状（発熱や咳、鼻水、目の充血、発しん等）がある場合はマスクをつけ、登園・登校、出社等を控え、事前に医療機関に電話連絡した上で早めに受診してください。また、渡航歴や麻疹患者との接触がある場合にはそのことを医療機関に伝えてください。